

25 「野口英世」と済生学舎で同級であった石川東悦医師の残した写真と試験問題について

志村俊郎¹⁾・唐沢信安²⁾
石川康悦³⁾・寺本 明⁴⁾

1) 日本医科大学教育推進室・2) 唐沢医院 (日本医科大学)
3) 石川医院 (日本医科大学)・4) 日本医科大学脳神経外科

はじめに

野口英世は、明治二十九年一月四日から明治三〇年八月三〇日まで済生学舎に在籍した。野口の済生学舎時代の足跡に関しては、不明な点が多い。最近の代表的な報告としては、共著者の唐沢の「野口英世——二一世紀に生きる (日本経済評論社二〇〇四年)」が見られるのみである。演者は、二〇年以上の野口英世の医学研究者である唐沢信安先生の指導で済生学舎時代の試験問題について当時の教科書と対比検討したので報告する。

対象

野口英世の同級生である石川東悦医師の孫にあたる石川康悦先生宅より当時の試験問題と受験者心得の用紙および野口英世と非常に良く似た卒業写真が発見されこれらを調査対象とした。試験問題と対比検討した教科書は、Tilhmans 著 CHIRURURGIE 各論 LEIPZIG 出版一八九九年と田代義徳翻訳チルマンズ外科各論南江堂書店明治二十七年である。

結果

(1) 入手し得た試験問題 (計二〇枚) は、明治二八年、二九年と三〇年の医術開業試験と済生学舎の定期試験でそれぞれ年二回施行されていた。医科試験は外科学、内科学、眼科学、産科学、薬物学と理科試験の解剖学、生理学、組織学、物理学、化学、理学である。

明治三〇年一月と明治二九年三月の医術開業試験における外科学の問題を事例として提示する。

明治三〇年医術開業試験

第一問 脱臼ノ症候及骨折トノ鑑別

第二問 頭蓋底骨傷ノ原因症候及療法

第三問 膝關動脈結紮ノ適症及術式

明治二九年医術開業試験

第一問 縫合糸及縫合ノ種類

第二問 外頸動脈結紮式ノ適応症及手術式

第三問 二三ノ主要ナル乳腺ノ新生物ヲ列記シ就

中最肝要ナル者ノ症候療法ヲ記載セヨ

第四問 顔面ニ於ル瘰癧護腫及癰腫ノ鑑別ヲ挙ケヨ

その他、特に脳外科問題を追記する。

明治二八年九月 医術開業試験の医科試問の外科学

第一問 穿頭術ノ適応症及手術式

明治三〇年九月 濟生学舎の定期試験

第四問 脳圧迫ト脳震盪の鑑別ヲ挙ケヨ

これらの試験問題の内の脳外科試験問題と教科書との対比を行った。田代義徳翻訳の教科書のP三外頸動脈の外科解剖、P九二の頭蓋底骨折にこれらの問題は付図と共に正確に記載されていた。また Tillmans 著 CHIRURGE 各論のP九九に穿頭術、P八七に脳震盪の記載が見られた。

(2) 濟生学舎の前期試験(受験者心得)には以下のごとく記載されていた。

来る九月三日ヨリ試験施行候洋服又ハ袴着用野紙(但シ半紙製) 筆墨硯錐持参同日午前六時迄ニ当校へ出頭セラルヘシ

受験者心得

一 定時ヲ遅ル者ハ入場ヲ許サス

二 日本筆野紙(半紙製)ノ外品ヲ用ユル者ハ答案

ノ真偽ニ関セス無効トス

三 受験中不都合ト認ムルキハ退場セシムルフアル可シ

(3) 石川東悦医師の履歴・明治一〇年一月二一日埼玉県南埼玉郡武里村備後に生まれる。明治三〇年医術開業試験合格・医籍番号一〇五一〇号。濟生学舎卒後に神田駿河台「杏雲堂医院」にて内科修業後現地にて内科・石川医院を開業する。

石川家で同級生の野口英世と一緒に撮られた卒業写真と言ひ伝えられている遺品を見せられた。演者は、この写真を東京の(財)野口英世記念館の関山英夫先生に送って判定をして頂いた。その結果は、非常に似ているが野口とは別人であるとの報告を得た。諸先生の御判定をお願いします。

まとめ

以上の濟生学舎の試験問題と当時の外科学の教科書との対比より、濟生学舎の学問レベルは、非常に高く当時のドイツ医学を継承していたことが推測された。また当時の外科学の試験問題に専門外科である脳外科問題が多く出題されていた。今後、石川東悦医師の貴重な資料をもとに野口英世の研究を進展させたいと考えている。